

《国語の基礎確認シート4》 話し方・敬語の使い方

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

一 敬老会の始めの言葉を担当することになった前田さんは、次の原稿を作りました。

【原稿】※1から8は、文の番号を表しています。

- 1 みなさん、こんにちは。
- 2 私たちは、花畑小学校の五年生です。
- 3 今日は、敬老会に私たちをまねいてくださって、ありがとうございます。
- 4 私たちは、みなさんとお会いできることを楽しみにしていました。
- 5 はじめに、今日のプログラムを説明します。
- 6 先ほどお配りした、二つおりの紙を広げてください。
- 7 まず「名前当てゲーム」を行い、続いて「じゃんけんゲーム」を行う。
- 8 どちらも楽しくできるゲームです。〔原稿が続く。〕

(1) 前田さんは、相手の動きを見て、じゅうぶんに間を取るとよいところに印をつけた。それは、どの文の後でしょうか。最もふさわしいものを【原稿】の1から7までの文の中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

(2) 【原稿】の1から8までの文の中から、文末がていねいな表現になっていない文の一つ選んで、その番号を書きましょう。また、その文の文末をていねいな表現に直して書きましょう。

二 前田さんは、「名前当てゲーム」について、次のように説明しました。このときの話し方として最もふさわしいものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明】

「名前当てゲーム」について説明します。このゲームは、二人一組で行います。このあと、私たち全員の名前をひらがなで書いたプリントをみなさんにお配りします。ペアになった者が、自分の名前のヒントを三つ出しますので、分かったところで答えを言ってください。チャンスは三回です。一つめのヒントで正解した場合は三ポイント、二つめは二ポイント、三つめは一ポイント差し上げます。〔説明が続く。〕

- 1 聞き手が聞きやすいように、最初から最後まで同じ調子で話す。
- 2 話が伝わっているかどうか、聞き手の表情を確かめながら話す。
- 3 早くゲームを始めることが大切なので、できるだけ早口で話す。
- 4 全員に聞こえるように、多くの人がかかるさいと感じる声で話す。

三 次は、敬老会の最後に森さんが語った言葉です。(ア)、(イ)に入る言葉を、アは二字、イは四字で書きましょう。

今日は、とても楽しい時間を過ごすことができました。これからも(ア)に気を付けてお過ごし(イ)。